

QST ダイバーシティ通信

# Harmony

## No.6

- 01 「ダイバーシティが生み出す未来」  
金田一喜代美 監事／杉山 祐士 課長 よりー1
- 02 ダイバーシティ推進課 2024年度活動報告ー2
- 03 千葉市内高校生らとQST女性管理職との交流ー3
- 04 「メンター制度」についてー3
- 05 支援制度紹介ー4
- 06 オンライン交流会「子育て交流会」を開催しましたー5
- 07 改正育児・介護休業法が施行されますー6
- 08 「育児・介護サポートのしおり」をご活用くださいー6
- 09 ダイバーシティ推進課よりー7

# ダイバーシティが生み出す未来 ～素粒子の多様性がわたしたちの宇宙を形作る～

量子科学技術研究開発機構 監事 金田一 喜代美



とても不思議な“量子もつれ”という現象を研究員の方から伺ったことがあります。これは、離れた粒子同士は影響を及ぼし合っていて、たとえば、異なる種類の素粒子（クォーク、レプトン、ボソンなど）が相互作用し、私たちの見える多様な物質世界をつくっていることです。ある意味、

ミクロの世界においても“素粒子の多様性が宇宙を形作る”というダイバーシティの法則があるように思えました。

私たちの社会も異なる背景を持つ人々の意見や視点が結びつくことで、豊かになり個々の能力以上の成果や、新たな価値が生まれます。また、組織がますます発展していくために欠かせないのは「ダイバーシティ（多様性）」への柔軟性と言えます。様々な人材との多様なつながりは、この「量子もつれ」に似ていると感じました。

私たちの研究機関は、日々最先端の知識を追求し、科学技術の発展に貢献しています。一方、優れた知識や技術があっても、

それを活かす環境がなければ、最大限の成果は得られません。そこで鍵となるのが、多様な視点と経験を持つ人々が、それぞれの強みを発揮できる組織作りなのかもしれません。それは、単に性差に限らず、国籍の違い、障がいを持つ方々、Z世代からシニア世代までの年齢差、異なる学歴やバックグラウンドを持つ専門性、さらには多様な文化的背景を持つ者が協力しながら働くことも含まれます。このような多様性があるからこそ、QSTでは従来の枠組みにとらわれない新たな発見や発想が生まれ、創造的な研究が可能になっているのだと感じています。

このようなことから、多様な価値観を持つ人々が安心して意見を述べ、互いに学び活躍することが可能であれば、より豊かな研究成果が生まれることが期待できます。組織全体の柔軟性や適応力も向上します。そのためには偏見をなくし、お互いの違いを尊重する意識を持つことが大切と言えます。そして、多様な働き方を支援し、誰もが能力を発揮しやすい環境を整えていく必要があります。さらに、積極的に対話を重ねることで、お互いの理解を深め、協力しやすい関係を築くことができます。

ダイバーシティが生み出す未来は「理想」ではなく、まるで素粒子の多様性が宇宙を形作るように、私たちの組織や社会をより豊かで持続可能なものへと成長させます。これからも皆様とともに多様性の力を活かし、更なるQSTの新しい価値とよりよい未来を築いていきましょう。

2024年4月から人事部ダイバーシティ推進課長を拝命しました。同年4月の組織改正に伴い、ダイバーシティ推進室から人事部のダイバーシティ推進課となり、人事課、職員課とも一体となってダイバーシティ推進に取り組んでいます。これまで、出産・育児・介護等のライフイベント期の就業継続支援やライフ・ワーク・バランス支援、セミナーや研修によるダイバーシティ理解増進活動など、さまざまな取組を行ってきました。また、県や市のイベントに協力して、中高生などを対象とした職場訪問ツアーやロールモデル講演会にも参加しています。

さらに、新たな取組として、昨年10月よりメンター制度を導入しました。研究やキャリアの相談、仕事とライフイベントとのバランスや両立など、研究を継続するうえでの悩み、不安を感じたとき、先輩職員から助言などの支援を受けられる制度です。対象はQSTに勤務する定年制職員で研究者、技術者や事務職員など職種は問いません。来年度もメンティー（相談者）を募集する予定ですので、ぜひ活用していただければと思います。その他にも様々なダイバーシティに関連した施策等がありますので、一度ホームページをご覧くださいと幸いです。

今後も、誰もが働きやすい職場であるために、継続的な環境整備等を行ってまいりますので、今後とも皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ダイバーシティ推進課  
杉山 祐士 課長 より



# 人事部ダイバーシティ推進課 2024年度活動報告

2024年

4月1日 人事部ダイバーシティ推進課として新たにスタート

8月6日

千葉市内高校生らと QST 女性管理職との交流・職場訪問ツアーの実施

千葉市主催の「女性管理職との交流・職場訪問ツアー」に応募した高校生が来所し、神田理事、中山人事課長との座談会や HIMAC 等の施設見学を行いました

⇒ 3 ページ

10月1日

「メンター制度実施規程」の新規制定

⇒ 3 ページ

12月17日

オンラインランチ交流会「子育て交流会」の実施

⇒ 5 ページ

12月18日

ワークライフバランスセミナー  
「仕事と介護の両立セミナー」の開催

介護の現場経験とケアマネジャーの資格を有する講師を招き、「高齢者介護を取り巻く環境」、「仕事と介護を両立するには」等の内容を中心に講演いただきました



2025年

1月16日

スキルアップセミナー  
「研究ポスター作成とデリバリー」の開催

相手に伝わりやすく、有効なデザイン・書き方に関しての基本的なルールや、聞き手により伝わりやすいポスタープレゼンテーションについてのセミナーを開催しました



1月16日

「第12回ダイバーシティ CHIBA 研究環境促進  
コンソーシアム連絡会」に出席

2月4日

スキルアップセミナー  
「国際学会プレゼンテーションセミナー」の開催

国際会議での発表において、聞き手を重視したプレゼンテーションができるよう効果的なプレゼンテーションスキルについてのセミナーを開催しました



2月25日

「メンター制度セミナー」の開催

2024年度から QST で開始したメンター制度の基本的な事項を学ぶセミナーを開催しました



## ダイバーシティ推進課は、 QSTで働く職員を応援します。

たとえば、こんなときはお気軽にご相談ください。

親の介護をすることになった。  
QSTの支援制度を知りたい。



配偶者が出産することになった。  
どんな休暇が取得できるの？



「企業主導型保育施設」って何？  
どこにあるのかな？



不妊治療を受けている。特別休暇を申請できるか  
確認したい。（「不妊治療に係る両立支援担当者」  
に相談できます）

QSTは「くるみん認定」を受けている  
と聞いた。申請書類に「くるみんマーク」  
を使いたい。

ダイバーシティに関する交流会  
やセミナーを開催してほしいの  
で相談したい。



「研究支援要員助成制度」を利用した  
いけど、いつ募集しているのかな？



### 編集後記

やっと暖かくなって来たと思いきやまた真冬の寒さが戻ったりして、まさに三寒四温。春はもうそこまで来ている感じがします。

皆さんは、春になると千葉地区構内のあちこちに様々な花が咲いているのをご存知でしょうか。新施設の建設などで桜の木や植物は昔に比べ大分少なくなりましたが、まだ目を楽しませてくれる美しい植物がたくさん残っています。その中でも毎年、廃棄物処理棟の敷地内に咲く「ブラシノキ」は、本当にコップを洗うブラシのような不思議な形をしていて、赤い色がとても綺麗で初めて見た時は感動しました。それから毎年5月頃の開花を楽しみにしています。

春は色々な業務が重なりお忙しい時期とは思いますが、天気の良い日はちょっと外に出て息抜きがてらに所内の植物観察をしてみませんか。（Y）



←廃棄物処理棟前の  
ブラシノキ



研究室A棟前の→  
イチウウの木



国立研究開発法人

量子科学技術研究開発機構

発行 | 2025年3月

編集 | 人事部ダイバーシティ推進課

〒263-8555 千葉市稲毛区穴川4-9-1

E-mail qst-diversity@qst.go.jp

<https://qstgojp.sharepoint.com/teams/qst-diversity7>